



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 不二製油グループ本社株式会社
コード番号 2607 URL <http://www.fujioilholdings.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 清水 洋史

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRグループリーダー (氏名) 関 伊知郎

TEL 06-6459-0701

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	71,759	8.4	4,860	92.9	4,834	98.6	3,314	154.5
28年3月期第1四半期	66,191	3.7	2,519	△27.6	2,434	△31.2	1,302	△55.0

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 1,205百万円 (59.5%) 28年3月期第1四半期 756百万円 (△68.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	38.56	—
28年3月期第1四半期	15.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	263,098	148,398	54.0	1,651.89
28年3月期	266,877	148,787	53.3	1,655.70

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 141,994百万円 28年3月期 142,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	147,000	9.6	6,700	4.1	6,000	1.2	3,700	2.2	43.04
通期	310,000	7.8	17,500	3.9	16,000	13.3	10,000	8.4	116.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	87,569,383 株	28年3月期	87,569,383 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	1,610,288 株	28年3月期	1,610,095 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	85,959,261 株	28年3月期1Q	85,959,773 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想値とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得情勢は堅調であったものの消費の伸び悩みなどにより景気は足踏み状態が長期化しております。海外経済は、米国景気の減速の流れが一服したものの、英国の欧州連合（EU）離脱決定の影響による欧州景気の下振れリスクの増大や、中国や新興国を中心とした経済成長の鈍化など世界的な景気は依然力強さを欠く状態であり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境においては、急激な為替相場の変動や個人消費の伸び悩みなどにより、依然として厳しい事業環境が続きました。

この様な状況の中、当社グループはローリング中期経営計画「ルネサンス不二2018」（2016年4月～2019年3月）での基本方針である「サステナブル経営」「グローバル経営」「技術経営」に則り、成長戦略、収益構造改革、サプライチェーンの構築により事業体質の強化を図り、顧客ニーズに即した製品開発、高機能素材の供給に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は717億59百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益は48億60百万円（前年同期比92.9%増）、経常利益は48億34百万円（前年同期比98.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は33億14百万円（前年同期比154.5%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(油脂部門)

国内では、フライ油・製菓用油脂などのパーム油・チョコレート用油脂の販売数量が増加したこと等により増収・増益となりました。海外では、主に米州でパーム油の販売が伸長したことにより、増収・増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は264億61百万円（前年同期比3.5%増）、セグメント利益（営業利益）は16億11百万円（前年同期比72.8%増）となりました。

(製菓・製パン素材部門)

国内では、冷菓用チョコレートの販売が伸長したことや、クリームの販売伸長が寄与し、国内全体では増収・増益となりました。

海外では、東南アジアでのマーガリン・ショートニングの販売が減少しましたが、前年度に連結子会社化したチョコレート製造販売会社であるブラジルのハラルド社の売上高純増があり、増収・増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は355億66百万円（前年同期比16.9%増）、セグメント利益（営業利益）は25億32百万円（前年同期比84.2%増）となりました。

(大豆たん白部門)

大豆たん白素材は、健康食品市場向けの販売は堅調に推移しましたが、食肉・惣菜・加工食品市場向けの販売が減少しました。大豆たん白食品は、即席あげの販売が増加しました。大豆たん白機能剤は、飲料用途向けの販売が伸長しました。豆乳は、連結子会社トーラク(株)における小売向け豆乳販売事業の営業譲渡により、売上が減少しました。これらの要因により当部門全体は減収となりましたが、利益面では、事業再構築やコスト削減による採算改善により増益となりました。

以上の結果、当部門の売上高は97億31百万円（前年同期比4.5%減）、セグメント利益（営業利益）は7億15百万円（前年同期比238.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ37億79百万円減少し、2,630億98百万円となりました。

主な資産の変動は、現金及び預金の減少43億75百万円、有形固定資産の減少2億66百万円、投資有価証券の増加7億89百万円等であります。

有利子負債（リース債務は除く）は、前連結会計年度末に比べ8億72百万円減少し、591億28百万円となりました。

主な純資産の変動は、利益剰余金の増加17億68百万円、その他有価証券評価差額金の増加5億37百万円、為替換算調整勘定の減少20億48百万円であります。

この結果、自己資本比率は54.0%、1株当たり純資産は1,651円89銭となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ43億44百万円減少、前第1四半期連結累計期間末に比べ8億22百万円減少し、123億54百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で13億69百万円増加し、24億19百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益47億63百万円、減価償却費25億21百万円等による収入が、仕入債務の減少額21億25百万円、法人税等の支払額28億34百万円等の支出を上回ったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で202億36百万円支出が減少し、42億89百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出39億16百万円等があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比で259億69百万円減少し、19億54百万円の支出となりました。これは主に、短期借入金による資金調達額の純増加額5億43百万円等の収入が、長期借入金の返済による支出8億77百万円、配当金の支払額15億47百万円による支出等を下回ったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月11日発表の第2四半期累計期間及び通期の業績予想は修正しておりません。今後の事業環境の変化を見極めた上で、見直しの必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以降に取得した構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ0百万円増加しております。

(4) 追加情報

繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,771	12,396
受取手形及び売掛金	56,149	55,977
商品及び製品	22,766	22,790
原材料及び貯蔵品	27,196	26,493
繰延税金資産	2,334	2,639
その他	5,818	5,299
貸倒引当金	△166	△177
流動資産合計	130,869	125,419
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	31,366	30,972
機械装置及び運搬具(純額)	35,106	35,082
土地	16,129	16,114
建設仮勘定	5,031	5,251
その他(純額)	1,857	1,805
有形固定資産合計	89,491	89,225
無形固定資産		
のれん	13,133	13,292
その他	9,395	9,495
無形固定資産合計	22,528	22,787
投資その他の資産		
投資有価証券	16,324	17,113
退職給付に係る資産	656	788
繰延税金資産	373	355
その他	7,479	8,200
貸倒引当金	△847	△791
投資その他の資産合計	23,987	25,666
固定資産合計	136,007	137,679
資産合計	266,877	263,098

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,017	22,135
短期借入金	21,361	20,996
未払法人税等	3,795	2,276
賞与引当金	2,194	3,095
役員賞与引当金	50	-
その他	14,063	14,589
流動負債合計	66,482	63,093
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	28,639	28,132
繰延税金負債	7,089	7,157
役員退職慰労引当金	35	18
退職給付に係る負債	1,820	1,772
その他	4,022	4,526
固定負債合計	51,607	51,607
負債合計	118,089	114,700
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,208	13,208
資本剰余金	18,302	18,302
利益剰余金	109,761	111,529
自己株式	△1,748	△1,748
株主資本合計	139,524	141,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,390	5,927
繰延ヘッジ損益	△980	△1,617
為替換算調整勘定	△422	△2,470
退職給付に係る調整累計額	△1,189	△1,137
その他の包括利益累計額合計	2,798	702
非支配株主持分	6,464	6,403
純資産合計	148,787	148,398
負債純資産合計	266,877	263,098

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	66,191	71,759
売上原価	54,138	56,736
売上総利益	12,052	15,022
販売費及び一般管理費	9,533	10,162
営業利益	2,519	4,860
営業外収益		
受取利息	28	169
受取配当金	114	100
持分法による投資利益	-	91
デリバティブ評価益	124	84
その他	92	120
営業外収益合計	359	565
営業外費用		
支払利息	83	185
持分法による投資損失	199	-
その他	160	405
営業外費用合計	444	591
経常利益	2,434	4,834
特別損失		
固定資産処分損	64	71
特別損失合計	64	71
税金等調整前四半期純利益	2,369	4,763
法人税、住民税及び事業税	1,192	1,414
法人税等調整額	△242	△141
法人税等合計	950	1,273
四半期純利益	1,419	3,489
非支配株主に帰属する四半期純利益	116	175
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,302	3,314

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	1,419	3,489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	539	537
繰延ヘッジ損益	△114	△636
為替換算調整勘定	△1,129	△2,250
退職給付に係る調整額	63	52
持分法適用会社に対する持分相当額	△22	14
その他の包括利益合計	△663	△2,284
四半期包括利益	756	1,205
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	692	1,219
非支配株主に係る四半期包括利益	63	△13

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,369	4,763
減価償却費	2,231	2,521
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△196	△131
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	268	49
受取利息及び受取配当金	△142	△269
支払利息	83	185
売上債権の増減額(△は増加)	2,381	△742
たな卸資産の増減額(△は増加)	△764	△405
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,976	△2,125
その他	664	1,335
小計	1,918	5,179
利息及び配当金の受取額	127	269
利息の支払額	△69	△194
法人税等の支払額	△925	△2,834
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,050	2,419
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,178	△3,916
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△17,355	-
預け金の預入による支出	△4,719	-
その他	△272	△372
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,525	△4,289
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	27,876	543
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	△2,000	-
長期借入れによる収入	600	-
長期借入金の返済による支出	△756	△877
配当金の支払額	△1,461	△1,547
非支配株主への配当金の支払額	△98	△14
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△83	△15
その他	△61	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	24,015	△1,954
現金及び現金同等物に係る換算差額	△102	△518
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	436	△4,343
現金及び現金同等物の期首残高	12,716	16,698
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	23	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,176	12,354

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,574	30,431	10,186	66,191	—	66,191
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,552	122	155	3,829	△3,829	—
計	29,126	30,553	10,341	70,021	△3,829	66,191
セグメント利益	932	1,375	211	2,519	—	2,519

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位：百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客への売上高	42,458	12,911	6,099	4,722	66,191	—	66,191
セグメント間の内部売上高 又は振替高	131	7,110	205	43	7,492	△7,492	—
計	42,590	20,022	6,305	4,765	73,683	△7,492	66,191
セグメント利益又は損失(△)	1,808	1,075	△349	336	2,871	△352	2,519

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、
インドネシア、タイ
米州：米国、ブラジル
欧州：ベルギー

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社及び当社グループ(以下 当社グループ)は油脂製品、製菓・製パン素材製品及び大豆たん白製品の製造販売を主として行っており、取り扱う製品群毎に国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、製品群を基礎とした事業別のセグメントから構成されており、「油脂」、「製菓・製パン素材」及び「大豆たん白」の3つを報告セグメントとしております。

「油脂」はヤシ油、パーム油及びパーム核油等を基礎原料とした精製油及びチョコレート用油脂等を製造販売しております。「製菓・製パン素材」はチョコレート、クリーム、ショートニング及び乳加工食品等を製造販売しております。「大豆たん白」は大豆たん白素材、大豆たん白食品及び豆乳等を製造販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	合計
	油脂	製菓・製 パン素材	大豆たん白	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,461	35,566	9,731	71,759	—	71,759
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,927	166	207	4,301	△4,301	—
計	30,389	35,732	9,938	76,061	△4,301	71,759
セグメント利益	1,611	2,532	715	4,860	—	4,860

(注) セグメント間取引消去によるものです。なお、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考資料)

所在地別セグメント

(単位：百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	計	調整額	合計
売上高							
外部顧客への売上高	42,919	11,731	12,352	4,756	71,759	—	71,759
セグメント間の内部売上高 又は振替高	180	5,704	121	17	6,023	△6,023	—
計	43,099	17,435	12,474	4,774	77,783	△6,023	71,759
セグメント利益	2,804	1,225	503	355	4,889	△28	4,860

(注) 1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、
インドネシア、タイ

米州：米国、ブラジル

欧州：ベルギー

2017年3月期 第1四半期 決算補足資料

不二製油グループ本社株式会社

1

目次

1. 連結 第1四半期業績
 - (1) 連結 損益概要
 - (2) 連結 油脂部門損益
 - (3) 連結 製菓・製パン素材部門損益
 - (4) 連結 大豆たん白部門損益
 - (5) 連結 地域別損益
 - (6) 連結 貸借対照表
 - (7) 連結 キャッシュ・フロー
 - (8) 連結 指標
2. 連結業績予想

※1：本資料に記載されている金額は億円未満を四捨五入で表示しています。
※2：本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2

1-(1) 連結 損益概要

(単位: 億円)

		15年度 Q1	16年度 Q1	対前期	
				増減額	増減率
売上高	油脂	256	265	+9	+3.5%
	製菓・製パン素材	304	356	+51	+16.9%
	大豆たん白	102	97	▲5	▲4.5%
	合計	662	718	+56	+8.4%
営業利益	油脂	9	16	+7	+72.8%
	製菓・製パン素材	14	25	+12	+84.2%
	大豆たん白	2	7	+5	+238.5%
	合計	25	49	+23	+92.9%
営業利益率		3.8%	6.8%	+3.0p	—
経常利益		24	48	+24	+98.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益		13	33	+20	+154.5%
四半期包括利益		8	12	+4	+59.5%

3

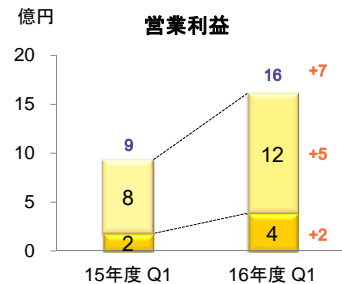
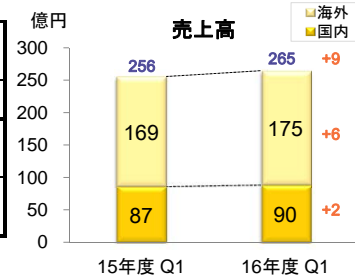
1-(2) 連結 油脂部門損益

(億円)

	15年度 Q1	16年度 Q1	対前期	
			増減額	増減率
売上高	256	265	+9	+3.5%
営業利益	9	16	+7	+72.8%

業績サマリー

- **国内**
パーム油・チョコレート用油脂の販売数量が増加したこと等により増収・増益。
- **海外**
主に米州でのパーム油の販売が伸長したことにより増収・増益。



4

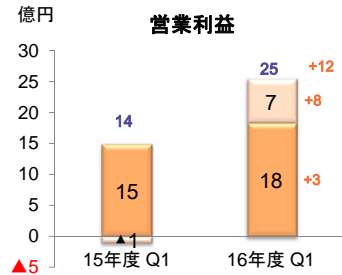
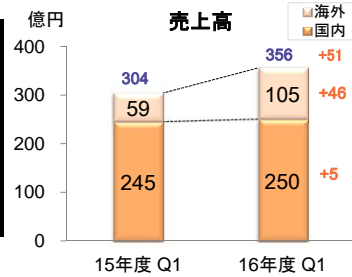
1-(3) 連結 製菓・製パン素材部門損益

(億円)

	15年度 Q1	16年度 Q1	対前期	
			増減額	増減率
売上高	304	356	+51	+16.9%
営業利益	14	25	+12	+84.2%

業績サマリー

- **国内**
冷菓用チョコレートの販売伸長、クリームの販売伸長が寄与し増収・増益。
- **海外**
東南アジアでのマーガリン・ショートニングの販売が減少するも、前年度に連結子会社化したチョコレート製造販売会社のブラジルのハラルド社の売上高純増があり増収・増益。



5

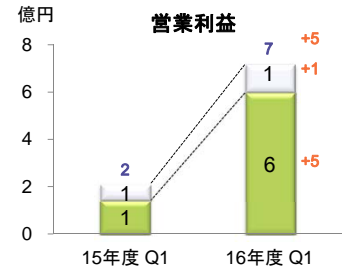
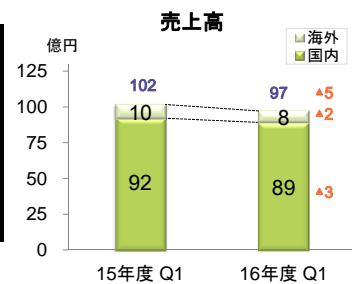
1-(4) 連結 大豆たん白部門損益

(億円)

	15年度 Q1	16年度 Q1	対前期	
			増減額	増減率
売上高	102	97	▲5	▲4.5%
営業利益	2	7	+5	+238.5%

業績サマリー

- **大豆たん白素材**
健康食品市場向けは堅調に推移するも、食肉・惣菜・加工食品市場向けの販売は減少。
- **大豆たん白機能剤**
飲料用途の販売が伸長。
- **豆乳**
連結子会社トーク㈱における小売向け豆乳販売事業の営業譲渡により売上が減少。
- **部門全体**
事業再構築やコスト削減による採算改善等より増益。



6

1-(5) 連結 地域別損益

(単位:億円)

		15年度 Q1	16年度 Q1	対前期	
				増減額	増減率
売上高	日本	425	429	+5	+1.1%
	アジア	129	117	▲12	▲9.1%
	欧米	108	171	+63	+58.1%
	合計	662	718	+56	+8.4%
営業利益	日本	18	28	+10	+55.0%
	アジア	11	12	+2	+14.0%
	欧米	▲0	9	+9	—
	消去	▲4	▲0	+3	—
	合計	25	49	+23	+92.9%

日 本:油脂、製菓・製パン素材の販売数量増加、原材料コストの低減等により増収・増益。

アジア:マーガリン・ショートニング類の販売減少等により減収。

欧 米:ハラルド社の売上高純増、米州でのパーム油の販売伸長等により増収・増益。

7

1-(6) 連結 貸借対照表

(単位:億円)

	15年度 期末	16年度 Q1末	対前期末	主な増減要因
流動資産	1,309	1,254	▲55	現預金の減少、棚卸資産の減少等
固定資産	1,360	1,377	+17	投資有価証券の増加等
資産合計	2,669	2,631	▲38	
有利子負債	600	591	▲9	
その他負債	581	556	▲25	法人税等支払による納税充当金の減少等
負債合計	1,181	1,147	▲34	
純資産合計	1,488	1,484	▲4	利益剰余金の増加、為替換算調整勘定の減少等

8

1-(7) 連結 キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	15年度 Q1	16年度 Q1	対前期
税引前四半期純利益	24	48	+24
減価償却費	22	25	+3
他増減	▲36	▲49	▲13
営業キャッシュ・フロー	11	24	+14
投資キャッシュ・フロー	▲245	▲43	+202
フリー・キャッシュ・フロー	▲235	▲19	+216
借入金等による調達・返済	257	▲3	▲261
配当支払・自己株取得等	▲17	▲16	+1
財務キャッシュ・フロー	240	▲20	▲260
現金及び現金同等物増減(換算差額含む)	4	▲43	▲48
新規連結に伴う増減	0	—	▲0
現金及び現金同等物残高	132	124	▲8

(注)・減価償却費には、有形固定資産及び無形固定資産等の償却費を含めています。

・現金及び現金同等物増減には、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めています。

9

1-(8) 連結 指標

(単位:億円)

	13通期	14Q1	14通期	15Q1	15通期	16Q1
設備投資額	61	15	112	26	153	36
減価償却費	83	19	82	21	92	23
有利子負債	289	285	296	600	600	591
純資産(少持除く)	1,281	1,309	1,456	1,448	1,423	1,420
1株当たり純資産	1,490円	1,522円	1,694円	1,684円	1,656円	1,652円
総資産	2,022	2,046	2,236	2,596	2,669	2,631
自己資本比率	63.3%	63.9%	65.1%	55.8%	53.3%	54.0%
D/Eレシオ	0.23	0.22	0.20	0.41	0.42	0.42
ROE	6.7%	8.9%	6.8%	3.6%	6.4%	9.3%
ROA	7.4%	7.0%	6.3%	4.0%	5.8%	7.3%

(注)・減価償却費は、有形固定資産の減価償却費を表示しています。

・純資産は少数株主持分を除いた普通株式に係る純資産額を表示しています。

・D/Eレシオ=有利子負債÷純資産(少数株主持分除く)

・ROE=当期純利益÷純資産(Q1指標は、年換算しています。)

・ROA=経常利益÷総資産(Q1指標は、年換算しています。)

10

2 連結業績予想

【連結業績予想】

(単位:億円)

	第2四半期累計			通 期		
	前 期	当 期	増 減	前 期	当 期	増 減
売上高	1,341	1,470	+129	2,875	3,100	+225
営業利益	64	67	+3	168	175	+7
経常利益	59	60	+1	141	160	+19
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	36	37	+1	92	100	+8

(注) 2016年5月11日発表の連結業績予想は変更していません。